

Microscope Adaptor

MVA-380

取扱説明書 2ページ

Operating Instructions page 22

Mode d'emploi page 42

Bedienungsanleitung Seite 62

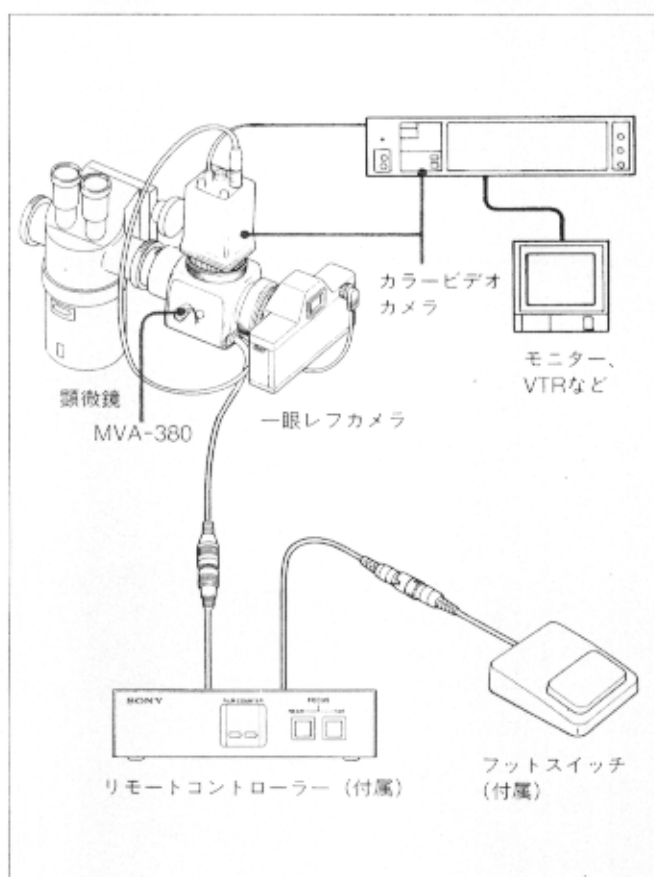
© 1992 by Sony Corporation

目次

概要.....	5
適合ビデオカメラ.....	6
適合一眼レフカメラ.....	6
使用上のご注意.....	6
各部の名称.....	7
本体.....	7
リモートコントローラー.....	9
取り付けかた.....	10
顕微鏡への取り付け.....	10
ビデオカメラの取り付け.....	11
一眼レフカメラの取り付け.....	13
リモートコントローラーとフットスイッチの接続のしかた.....	15
調節のしかた.....	16
焦点調節.....	16
絞り調節.....	17

使いかた	18
ビデオカメラで顕微鏡の映像を記録するには	18
一眼レフカメラのシャッターを切るには	19
一眼レフカメラのフィルム残量を確認するには	20
モニター画面の中心合わせ—視野の調整	21
主な仕様	21

概要



ソニー顕微鏡アダプターMVA-380は、Zeiss社製のOPMIシリーズ手術顕微鏡などに、ソニーのビデオカメラや、35mm一眼レフカメラを取り付けるアダプターです。顕微鏡下の被写体をビデオモニターで観察したり、VTRで録画したり、スライド用の写真を撮影することができます。付属のリモートコントローラーを使って離れた所から焦点の調節をしたり、一眼レフカメラに残っているフィルムの枚数を確認することができます。フットスイッチを使って顕微鏡の映像をビデオカメラに送るか一眼レフカメラに送るかを切り換えることができます。

適合ビデオカメラ

2/3インチ相当のCCD3板または3管式2/3インチ撮像管のスーパーカラービデオカメラで、レンズマウントがバヨネットマウント（フランジバック48mm）のもの。

例：DXC-750、DXC-750MD、DXC-755、DXC-760MDなど

適合一眼レフカメラ

MVA-380と組み合わせて使用できる一眼レフカメラは、TTL測光方式で、絞り優先AEモードの設定ができるカメラです。それ以外のカメラはお使いになれません。

交換マウント（取り付けアダプター）について

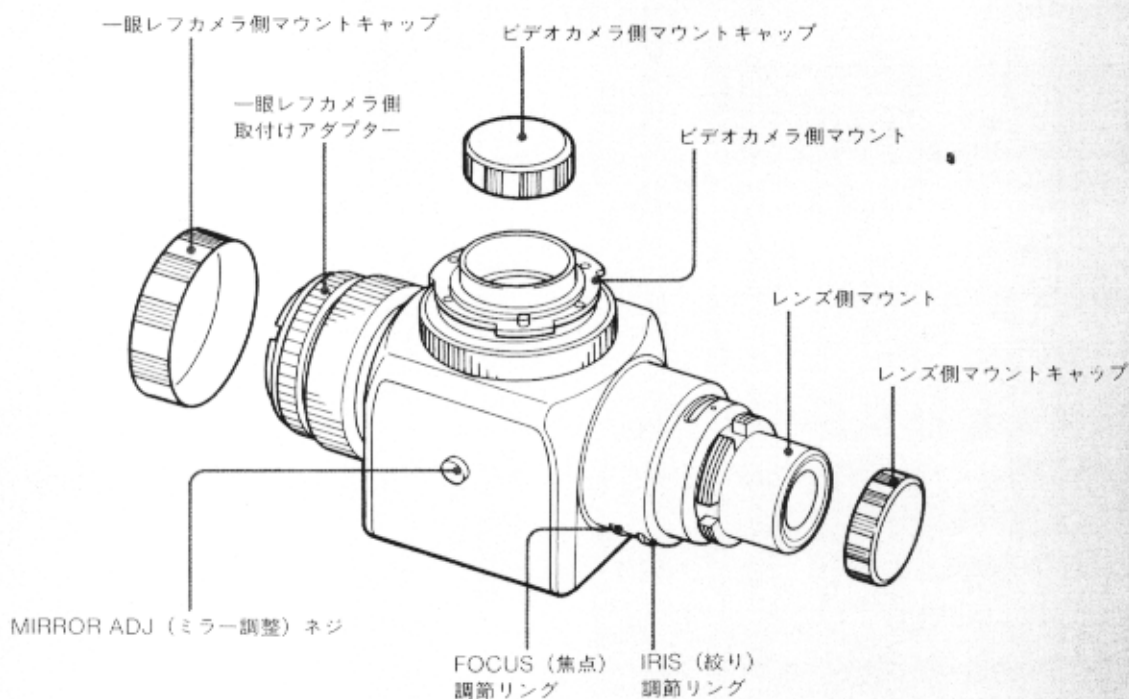
本機にはコンタックス仕様のカメラ取り付けアダプターが装着されていますので、コンタックス仕様の一眼レフカメラをお使いの場合はそのまま取り付けられます。

コンタックス仕様以外の一眼レフカメラをお使いになる場合は、そのカメラに合った取り付けアダプターが必要です。詳細については担当セールスマンにお問い合わせください。

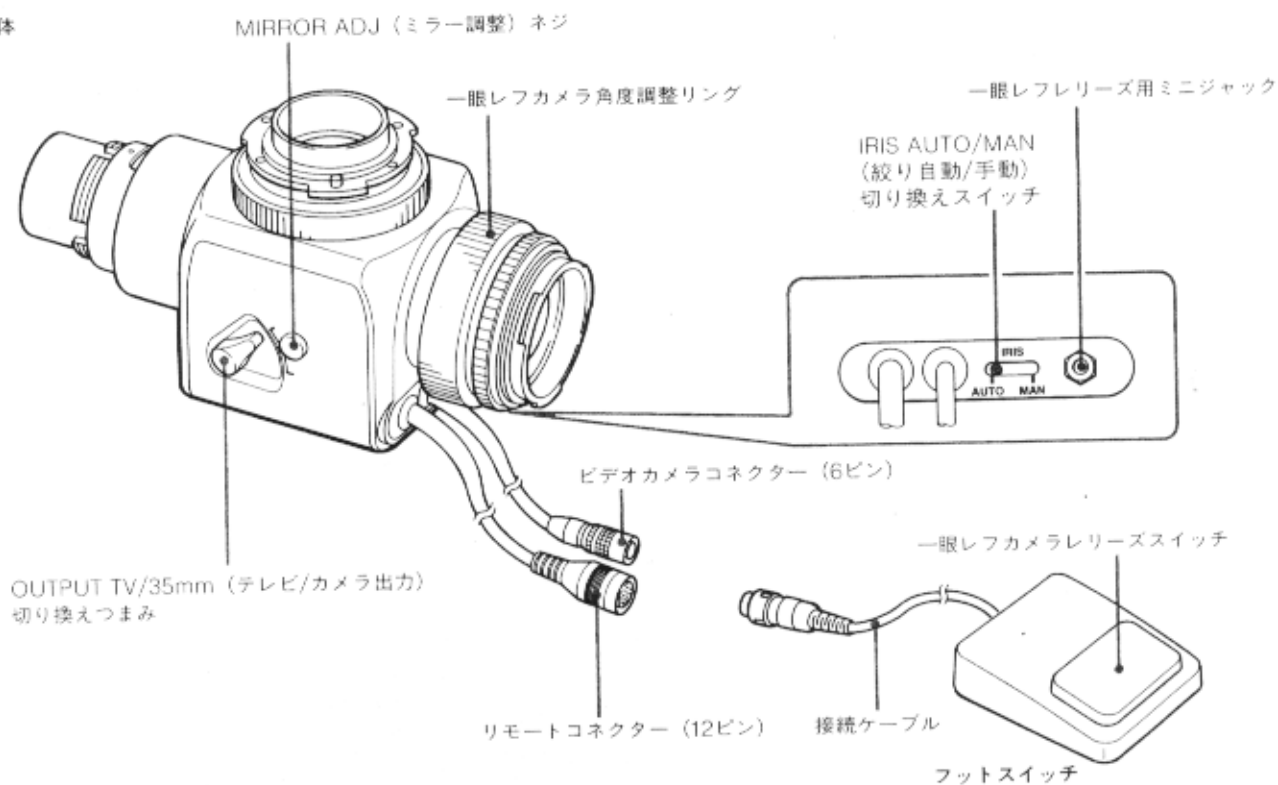
- 精密な光学部品が使われていますので、強いショックや振動を与えないように注意してください。
- 湿気やホコリの多い所での放置・保管は避けてください。
- レンズの表面にホコリが付着すると、映像のコントラストが低下することがありますので、使用後は付属のキャップをカバーして保管してください。
- 防水、防滴構造ではありませんので、消毒液は使用できません。ガス消毒をするか、ドレープをご使用ください。
- 清掃には細心の注意を払ってください。
レンズに付着したゴミやホコリは、市販のカメラ用ブローアードで吹き飛ばすか、柔らかい毛筆で取り除いてください。
- 万一故障した場合、または点検や再調整が必要な場合は、担当の担当セールスマンにご相談ください。

各部の名称

本体

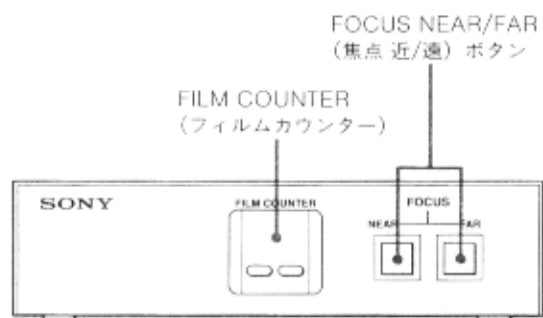
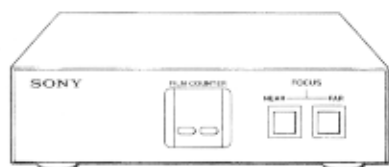


本体

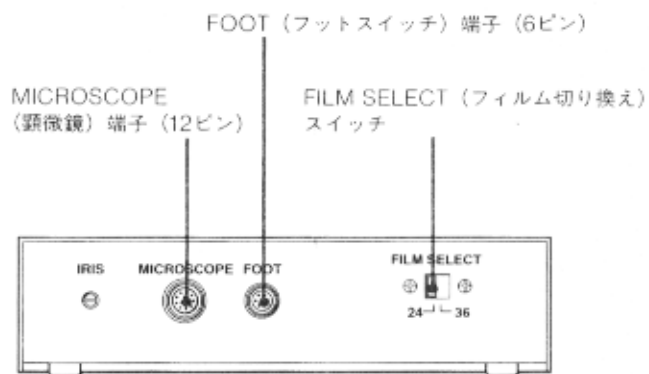


8

リモートコントローラー



(前面)



(裏面)

取り付けかた

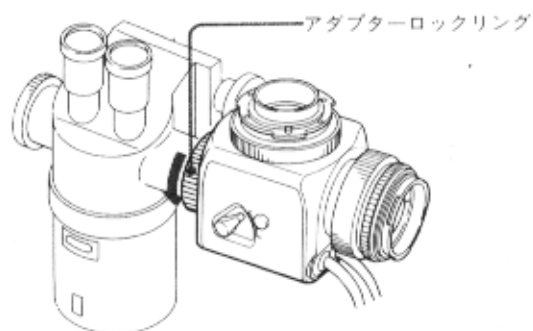
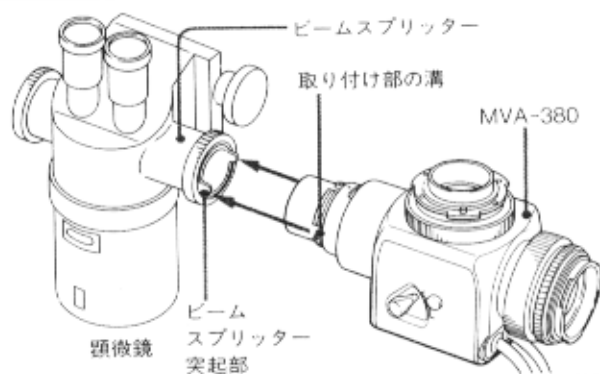
顕微鏡への取り付け

1 MVA-380 からレンズ側マウントキャップをはずします。

2 ビデオカメラを取り付ける方向に合わせて、MVA-380の取り付け部の溝を選びます。

次に、MVA-380の取り付け部の溝と顕微鏡のビームスプリッターの突起部をかみ合わせます。

3 ビームスプリッターについているアダプターロックリングを回して、かみ合わせ部分を固定します。



Zeiss社製またはTOPCON600シリーズ以外の顕微鏡への取り付けについては、担当セールスマンにご相談ください。

10

ビデオカメラの取り付け

右図は出荷時の状態でビデオカメラを取り付ける例です。
顕微鏡に対してMVA-380の取り付け位置が異なると、ビデオ

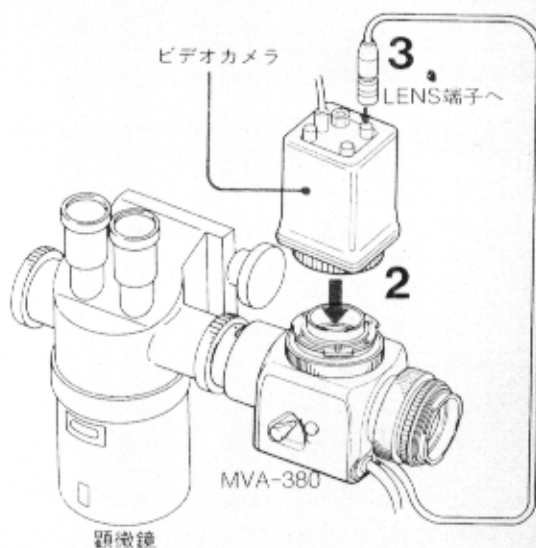
カメラを取り付ける方向も変える必要があります。ビデオカメラの取り付け方向を変える方法は次ページをご覧ください。

1 MVA-380 からビデオカメラ側マウントキャップを外します。

2 MVA-380にビデオカメラを取り付けます。

取り付け方法は、ビデオカメラのレンズの取り付け方法と同じです。ビデオカメラの取扱説明書を参照してください。

3 MVA-380 のビデオカメラコネクターを、カメラのLENS端子に接続します。



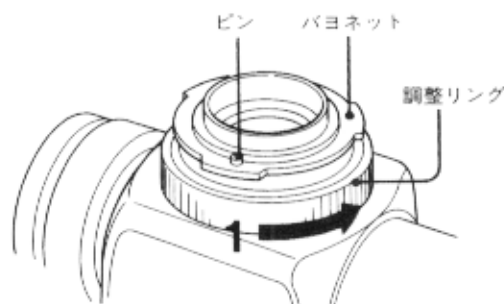
取り付けかた

ビデオカメラの取り付け方向を変えるには

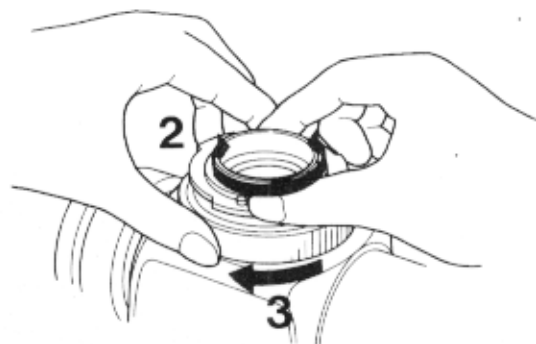
ビデオカメラの取り付け方向を90°ずつ、4方向に変えることができます。

取り付ける方向によって、モニターに映る画像の向きが異なりますのでご注意ください。

- 1 調整リングを反時計方向に回し、ゆるめます。



- 2 バヨネット部を希望する向き（クリック位置）まで回します。（ピン位置がビデオカメラの上部に相当します。）



- 3 調整リングを時計方向に止まるまで回します。

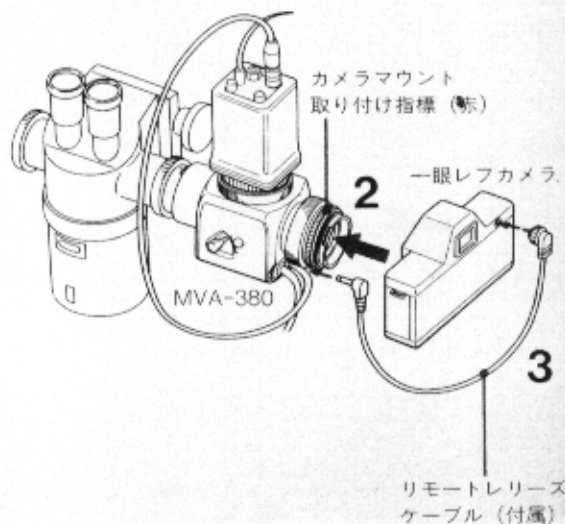
12

一眼レフカメラの取り付け

- 1 MVA-380 から一眼レフカメラ側マウントキャップを外します。

- 2 MVA-380 の取り付けアダプターの指標（赤）と一眼レフカメラのマウント指標を合わせ、一眼レフカメラを MVA-380 に押しつけながら、時計方向に止まるまで回します。

- 3 付属のリモートリリースケーブル¹⁾を MVA-380 本体のリリース用ミニジャックと一眼レフカメラのリリースコネクターに接続します。



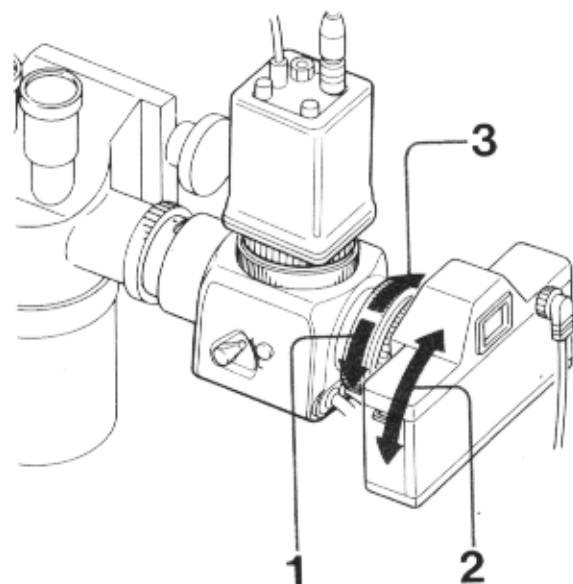
1) 本機には、コンタックス仕様のカメラ用リモートリリースケーブルが付属されています。コンタックス仕様以外のカメラをお使いの場合は、担当セールスマンにご相談ください。

取り付けかた

一眼レフカメラの向きを変えるには

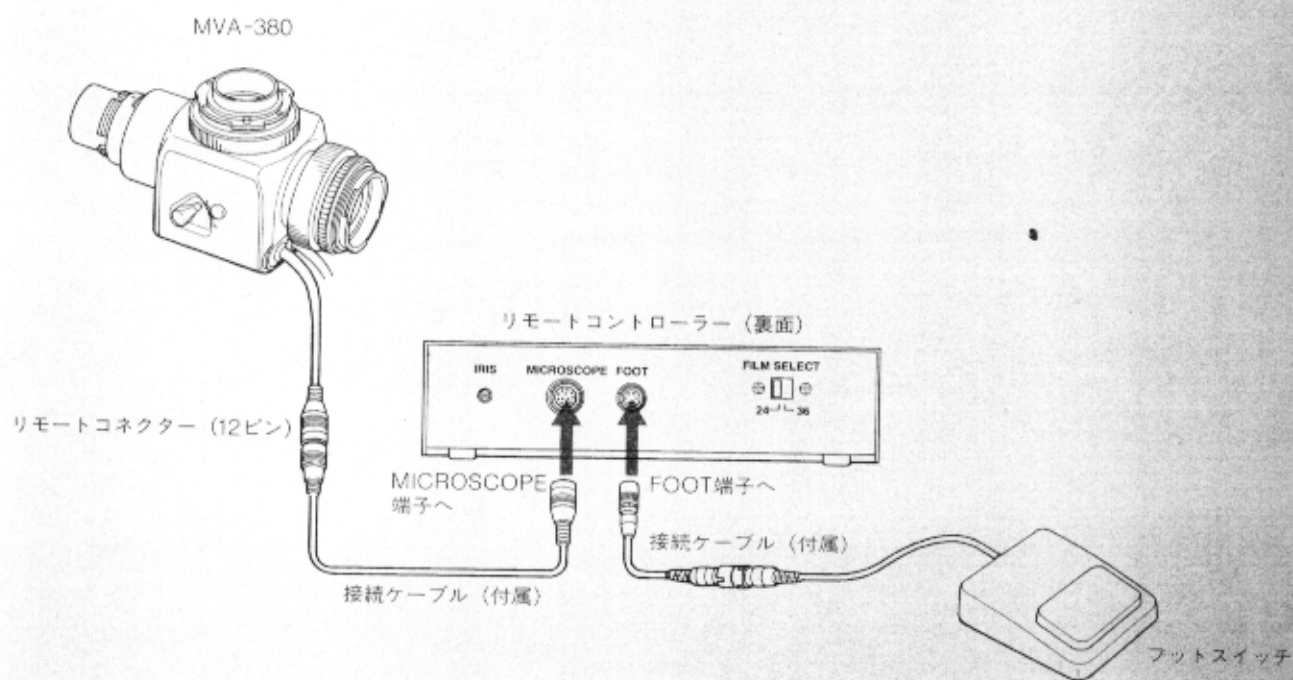
一眼レフカメラを取り付けた後、その向きを変えることができます。ご希望の向きに固定してください。

- 1 調整リングをカメラ側からみて、反時計方向に回してゆるめます。
- 2 一眼レフカメラ取り付けアダプターを回して一眼レフカメラの位置を決めます。
- 3 調整リングをカメラ側からみて、時計方向に止まるまで回し、カメラを固定します。



14

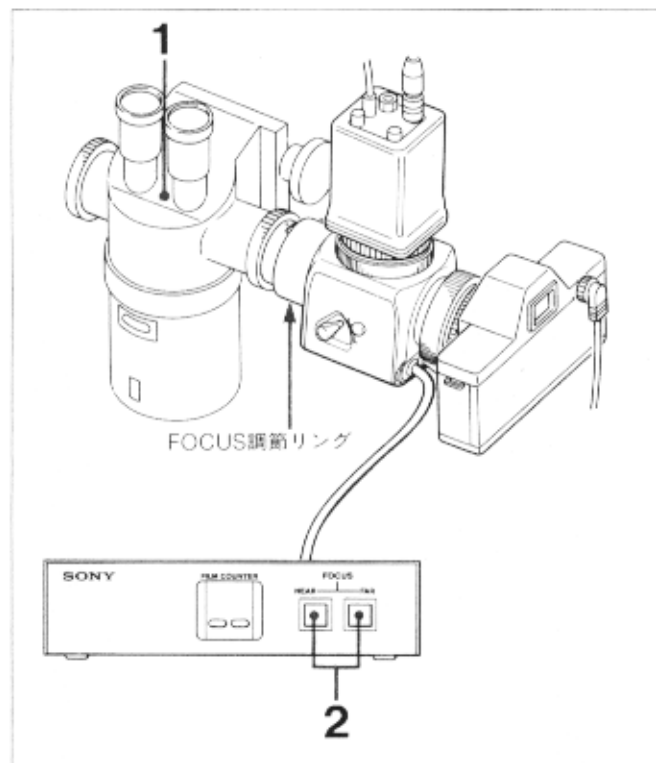
リモートコントローラーとフットスイッチの接続のしかた



15

調節のしかた

焦点調節



通常はリモートコントローラーを使って調節してください。

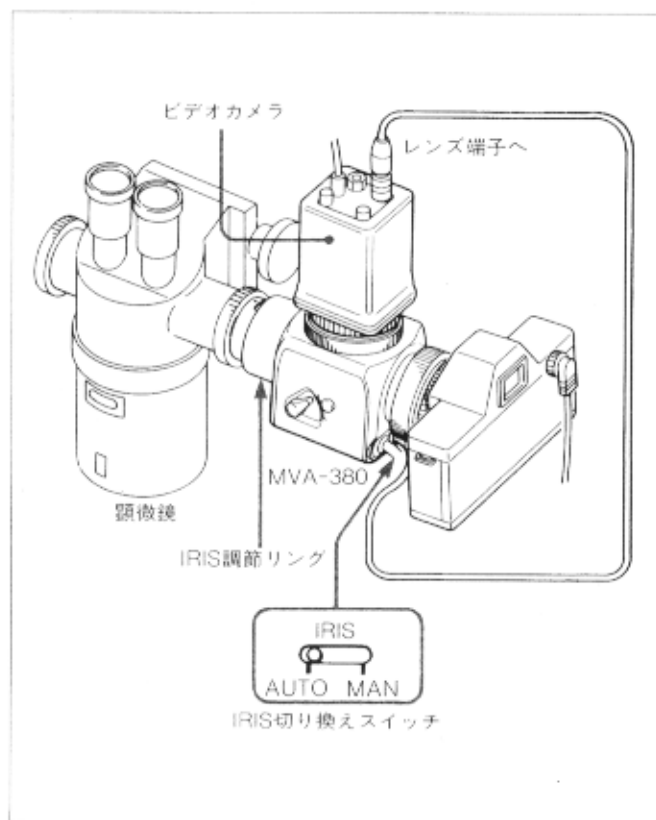
- 1 顕微鏡の焦点を合わせます。
- 2 リモートコントローラー（付属）の FOCUS NEAR/FAR ボタンで、モニターに映る画面を見ながら焦点を合わせます。
NEAR(近) ボタン：近くの被写体に焦点を合わせたいときに押します。
FAR(遠) ボタン：遠くの被写体に焦点を合わせたいときに押します。

手動で調節をするには

MVA-380本体の FOCUS 調節リングで、モニターに映る画面を見ながら焦点を合わせます。

16

絞り調節



MVA-380本体の IRIS AUTO/MAN 切り換えスイッチが AUTO になっていることを確認します。(出荷時は AUTO に設定されています。)

ビデオカメラの絞りは、MVA-380のビデオカメラコネクターがカメラのレンズ端子に接続してあれば、自動的に最適値に調節されます。

一眼レフカメラの絞りは、フットスイッチの一眼レフカメラリリーススイッチを踏み、ミラーが一眼レフカメラ側に切り換わると、オープン（開放）になります。

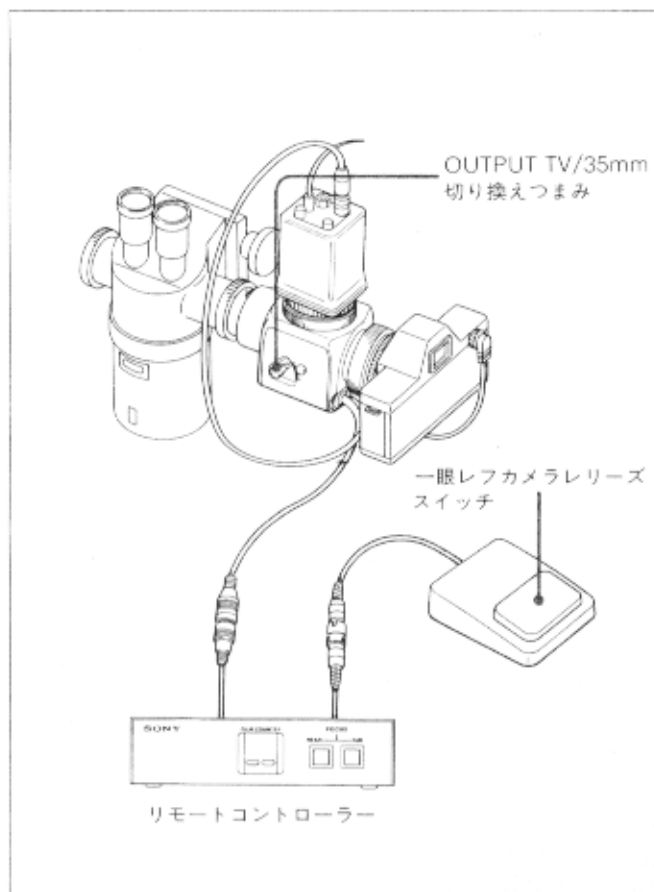
手動で調節をするには

MVA-380本体の IRIS AUTO/MAN 切り換えスイッチを MAN の位置にします。MVA-380 の IRIS 調節リングを回して絞りを調節することができます。

ご注意

顕微鏡の総合倍率を高くすると、モニター上の四隅が暗くなる場合がありますが故障ではありません。

17



ビデオカメラで顕微鏡の映像を記録するには

フットスイッチ(付属)を接続すると、通常は顕微鏡の映像がビデオカメラに送られ、モニターで見ることができます。フットスイッチを使って、顕微鏡の映像を一眼レフカメラに送ることもできます。

ご注意

ビデオカメラと一眼レフカメラの両方に、同時に映像を送ることはできません。

18

一眼レフカメラのシャッターを切るには

一眼レフカメラでモニター画面上の映像を撮りたいときは、フットスイッチの一眼レフカメラリリーススイッチを押します。

MVA-380内部のミラーの向きが切り換わり、顕微鏡の映像は一眼レフカメラに送られます。約2秒後に、自動的に一眼レフカメラのシャッターが切れます。

その後は、ミラーがビデオカメラ側に切り換わり、再びモニター画面上で顕微鏡の映像を見ることができます。

ご注意

MVA-380と一眼レフカメラの間に、リモートリリースケーブルが接続されていることを確認してください。(「一眼レフカメラの取り付け」13ページ参照。) リモートリリースケーブルが接続されていないと、一眼レフカメラリリーススイッチを押したとき、ミラーは一眼レフカメラ側に切り換わりますが、シャッターは切れずに、ビデオカメラ側に戻ります。

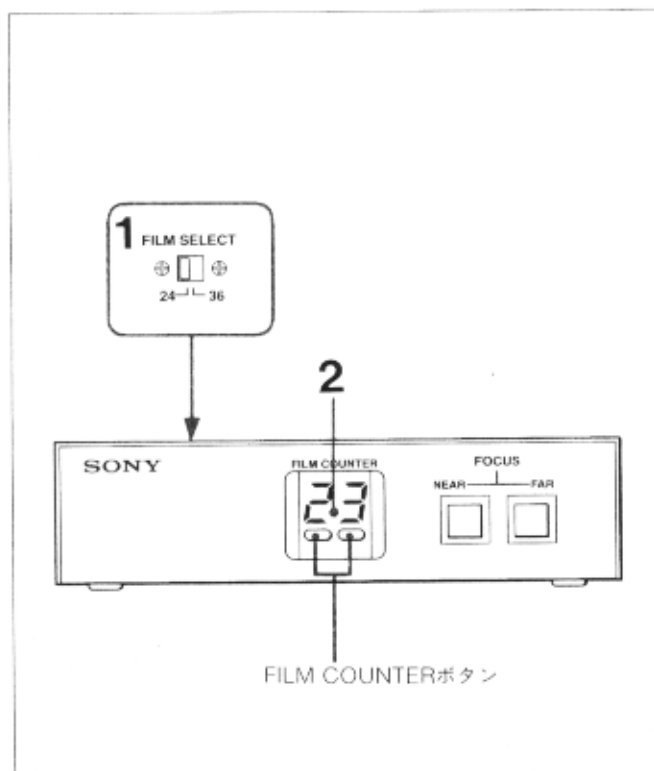
手動で一眼レフカメラのシャッターを切るには

フットスイッチの接続をはずし、MVA-380 本体の OUTPUT TV/35mm切り換えつまみを35mm側に切り換えてから、カメラのシャッターを切ります。

ご注意

MVA-380で撮ったネガは裏焼きになります。印画紙に焼くときは、「裏焼き」と指定してください。

一眼レフカメラのフィルム残量を確認するには



フットスイッチの一眼レフカメラリリーススイッチを踏むたびにリモートコントローラーのFILM COUNTERの数字が減ってフィルムの残り枚数を知らせます。

新しいフィルムを入れたとき

- 1 リモートコントローラー裏面にあるFILM SELECTスイッチを一眼レフカメラに入れたフィルムの枚数に合わせて、24または36に設定します。
- 2 フットスイッチを踏むたびにFILM COUNTERの数字が減ってフィルムの残り枚数が表示されます。

使いかけのフィルムを入れたとき

リモートコントローラーのFILM COUNTERボタンを押して、フィルムの残り枚数に合わせて数字を設定します。フットスイッチを踏むたびにFILM COUNTERの数字が減ってフィルムの残り枚数が表示されます。

FILM COUNTERの数字をリセットするには

FILM COUNTERボタンを2つ同時に押します。一本目のフィルムを撮り終って二本目のフィルムを入れたときは、FILM COUNTERをリセットしてください。

20

モニター画面の 中心合わせ——視野の調整

MVA-380は、顕微鏡側の光学中心とビデオカメラ・一眼レフカメラ側の光学中心が合うように調整されていますので、通常は視野を調節する必要はありません。

万一、顕微鏡とモニターの画像にずれが生じた場合は、モニター上の画像の中心を合わせ直してください。

- 1 MVA-380の表と裏のMIRROR ADJ調整ネジからゴムキャップを外します。
- 2 モニター上の画像を見ながら、MIRROR ADJ調整ネジで画像の中心を合わせます。なお調整にはマイナスの時計ドライバー4号(2.4mm)をお使いください。
- 3 調整が終わったら、ゴムキャップを元に戻します。

主な仕様

ビデオカメラ用マウント

パヨネットマウント

一眼レフカメラ用マウント

パヨネットマウント

顕微鏡用マウント

Zeiss社製OPMIシリーズまたはTOPCON 600シリーズ顕微鏡などに適合

焦点距離

ビデオカメラ：95mm

一眼レフカメラ：374mm

Fナンバー

ビデオカメラ：1.5.2~22 (クローズあり)

一眼レフカメラ：1.20.8

有効像円

直径11mm

最大外形寸法

70×94×184mm (幅×高さ×奥行き)

重量

約750g (ケーブル除く)

付属品

リモートコントローラー (1) 接続ケーブル (2)
フットスイッチ (1)
コンタックス仕様カメラ取り付けアダプター (1)
コンタックス仕様リモートリリースケーブル (1)
レンズ側マウントキャップ (1)
ビデオカメラ側マウントキャップ (1)
一眼レフカメラ側マウントキャップ (1)
取扱説明書 (1) 保証書 (1)

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。